

中野市放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会 会議録

日 時 令和3年10月25日(月) 午後2時55分～午後4時10分

場 所 中野市役所会議室21

出席者 (委員) 7名

小橋善行、小林由美、芳原慶子、油井桐子、湯本美雪、片所年子、
松島弘芳

欠席：小林綾香、仮屋慶一、高田秀樹、齋藤文子

(順不同 敬称略)

(事務局) 4名

子育て課長、青少年未来係長、青少年未来係

1 開 会

(青少年未来係)

これより、中野市放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会を開会いたします。
なお、本日でありますが4名の欠席の報告を受けておりますので、お知らせいたします。
それでは、開会にあたり子育て課長よりあいさつを申し上げます。

2 あいさつ

(子育て課長)

本日は、当運営委員会に御出席いただき誠にありがとうございます。

さて、本年度の放課後児童クラブの運営につきましては、全国的に新型コロナウイルスの猛威を振るう中、保護者が働きにより一人で家にいることができない子どもの居場所として感染対策を徹底し開所を継続してきたわけであります。幸い、当市の状況につきましては、放課後児童クラブの閉所という事態には至っておらず、利用者をはじめ保護者の皆様に感染症対策に御協力をいただいたことに感謝申し上げます。

今般の状況でございますが、ワクチン接種が進んだこと等の要因により、感染者数は軽減しておりますが、引き続き感染症対策を徹底し子どもの安心な居場所の確保に努めてまいりたいと考えております。

また、放課後子ども教室、ぽっぷ教室につきましては、5月から日野小学校から開始し、延徳小学校、豊田小学校、高丘小学校と順次実施してまいりましたが、コロナの第5波の影響で夏休み明けから9月末まで実施を中止いたしました。10月からは通常どおり実施しております。

本日は、委員の皆様により良いご意見をいただき、今後のクラブ運営に反映させてまいりたいと思っておりますので、本日はよろしく願いいたします。

3 会議事項

(1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う放課後児童クラブ、放課後子ども教室について

(会 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料に基づき青少年未来係長説明

(会 長) ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問等ありますか。

(委員)

現在もコロナ禍が続いていますが、支援員については足りていますか。

(青少年未来係長)

昨年度の学校休業中については、一日の開室だったため、小学校の支援員にお手伝いいただき大変ありがたかったのですが、今年度は小学校も通常どおりとなっておりますので、放課後児童クラブも通常どおり運営できています。

(委員)

感染者が発生した場合の対応方針について、保健所の指導に従うというのが濃厚接触者の把握について本当に限られた人のみのようで、保健所の職員でない他でも濃厚接触者の把握について知っている人がいるのではないかとの声もある。除染施設を早く開所するといっても、預かる方も預ける方も心配がでてきているので、そこをもう少し考えていかないと子どもがどこに行っているのかも知らない、誰と接触しているのかも分からない場合があるので、少なくとも職員は抗原検査等をして預かれる安心感がある方がいいのかなと感じています。

(青少年未来係長)

目に見えないものですので、いつ何時どういう状態になっていくのか、保健所もある一定のルールに従って濃厚接触者の判定になっていると思いますので、個人情報兼ね合いもありますが、保護者の方は就労もありますので、児童クラブでできる対応を考えていきます。

(委員)

きちっとやったうえで閉所します、と言うのであれば保護者も理解してくれます。預かる方もきちっとやっていかないといけないと痛切に感じます。

(委員)

小学校の例でいうと、当初保健所は小学校で聞き取り、行動調査をし濃厚接触者の特定や除染する場所等の確認ができていたが、今年になったら、まず小学校に来てくれない、電話での聞き取りになり保健所の業務も忙しいようですので、児童クラブ側で児童がどの辺にいたか等の把握をきちんとしていないと、クラブで感染した時に大変になるのではと考えます。

(委員)

子どもの事なので、密を避けることは非常に厳しい。おもちゃを使うこともあるし難しいなと思う。皆で考えていかないといけないと改めて感じています。

(2) 小学校統合に伴う放課後児童クラブについて

(会 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料に基づき青少年未来係長説明

(会長) ただ今の説明について、ご意見・ご質問等ありますか。

(委員)

(仮称) 高社放課後児童クラブについて、現在平岡放課後児童クラブには「ひらっこ」という通称名があつて、平岡の子ども達が利用しているのでドッチボールチーム等色々なところで名前が使われているようですが、今後の地区の運営委員会でも話がされると思いますが、これから長丘、科野、倭の子ども達が通所することになって「ひらっこ」という通称名を使うのかということと、保護者の送迎など色々な問題があると思いますので、ここに長丘地区の委員がおられるのでいい機会なので課題等あれば教えていただければと思います。

あと、豊田放課後児童クラブについても校長先生がお見えですので色々な課題や問題等を教えていただければありがたいと思います。

(委員)

現在、高社小の5年に子どもがおり、長丘放課後児童クラブを利用しています。スクールバスは長丘、科野、倭と非常にきめ細かく回っていただいて、児童クラブの方も今年度まではそれぞれクラブの近くでバスを降り児童クラブまで歩いていく状況です。来年度は高社小学校そばに統合になることになって、学校帰りについては、隣になるのでバスも使わず保護者も安心して利用できると思います。

長期休みの通所バスについては、朝も保護者が連れて行かなければならないのかなと思つたら、長期休みのバスについて検討されているようですので、朝から利用する方の場所まで回っていただければありがたいと思います。

(委員)

豊井と永田と統合するにあたって昨年度も色々検討してきたわけですが、永田の子ども達の児童クラブの利用は当初あまりなかったのですが、始めてみたら預けてもいいねということで現在8名と増えています。週に2, 3回使っているお子さんもいますのでありがたいなと思つていることと、長期休みにバスを出していただきましたので、長期休みだけ利用するお子さんもいますので、とてもありがたかったかなと思います。

あと、子ども達の動きについて去年どうしようか等決めてきたのですが、始めてみて子ども達の自然な動きと支援員の皆さんのやりやすさ、また安全確保が第一ですので始めてみて動線を変えています。また何かうまくいかないことが出てきたら相談していきたいと思つました。

様々な支援を必要とするお子さんがいまして、本当に御苦労いただいて申し訳ないなと思つておりますが、その子たちの様子を学校の中に児童クラブがありますので担任が行き来して情報交換させてもらっています。また毎日保護者のお迎えがありますので、学級担任が保護者と接するよりも多くの数を保護者と接してくれていますので、子ども達の情報が多く入ってきていますので、その辺を担任と共有させてもらっているのがすごくありがたいなと思つています。

課題としては、今の出入口にひさしや屋根がないので冬になったら出入りを昇降口からにしないと雪が降った時に困ると思うので、子ども達の出入りについてまた

変えていきたいなと考えています。

(子育て課長)

長期休みの通所バスについては、また来年度保護者の皆様から要望をお聞きする中で、お迎えだけですが検討してまいりたいと考えています。

豊田小学校の出入口については、懸案事項でありこちらも承知しておるところです。

(委員)

保護者の方がお迎えに来たら、児童は昇降口から帰ってもらうようになるかなと考えていますが。

(子育て課長)

ありがとうございます。よろしく願いいたします。

(青少年未来係長)

「ひらっこ」という通称名ではありますが、使用した方がいいか、どうお考えですか。

(委員)

統合するので使わない方がいいのではないかと思います。

(青少年未来係長)

今後、各クラブの運営委員会を行いまして、そのあと保護者説明会、また2月にいよいよの段階で運営委員会を開催し、申し込んだ方の保護者説明会を3月にということで、丁寧にやっていきたいと考えています。保護者さんと児童さんの不安のないようにやっていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(委員)

保護者の送迎の注意喚起について、特にお迎えの時が集中すると思いますが、一番心配しているのが、湯本工務店の交差点です。事故もあり今でも危ないのですが、気を付けると同時にどこに危険箇所があるのかを確認しておいた方がいいと思います。

(子育て課長)

危険箇所についても、保護者の皆様に注意喚起してまいりたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

(3) 小学校統合に伴う放課後子ども教室について

(会 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料に基づき青少年未来係長説明

(会 長) ただ今の説明について、ご意見・ご質問等ありますか。

(委員)

ぽっぷ教室の児童の帰りはどうなりますか。

(青少年未来係長)

就労家庭については、そのまま放課後児童クラブへ、そうでない家庭については保護者のお迎えを基本にお願いすることになります。

(委員)

高社小学校でもやっていただける方向になり良かったです。

以前、不登校の子どもについて、「学校に行こう」と言っても行かず、「ぽっぷ教室に行こう」と言うと言いく子どもがいました。その子にとっての心の支えになっていると感じ、たとえ月1回でもわずかな時間でもすごく大事な位置づけだと感じた。

(4) 放課後子ども総合プラン指導員から

(会 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

(事務局) スタッフの確保、児童クラブ及びぽっぷ教室の運営課題、支援を必要とする児童の支援について青少年未来係説明

(会 長) ただ今の説明について、ご意見・ご質問等ありますか。

(委員)

ボランティアの確保については大変だと感じる。ボランティアの人が増えるといいと思う。市役所にボランティア休暇があると知った。可能なら勤務中にボランティアできたらいいと思った。

(子育て課長)

制度はありますが、実際取得する人はなかなかいないと思われます。

ボランティアについては、高齢化が課題であり、人材育成やボランティア発掘が最重要課題だと思っているので何らかの方策を講じていかねばならないと思っております。

※会議事項終了

4 閉 会

(青少年未来係)

それでは、以上を持ちまして、中野市放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会を閉会いたします。